

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	おおうなぎ 大ウナギ		
所 在 地	宇和島市津島町岩松川		
所 有 者		管 理 団 体	宇和島市
指定年月日	昭和43年3月8日		
	大ウナギは、宇和海に注ぐ岩松川の下流や、岩松川の支流の増穂川下流に生息しているもので、昔から名物的な存在として知られてきた。しかし、近年は河川の改修が進み、ほとんどその姿を見ることができなくなっている。 この大ウナギは別名アカウナギ、カニクイ、カニクイウナギとも呼ばれ、赤味を帯びた灰色の皮にゴマ模様の斑点があるのが特徴である。しかし、脂が多く、身はしまりがないので食用には不向きとされている。 なお、これまでに発見されたもののうち、最大のものは昭和10（1935）年に捕獲した体長2m、重さ21kgのものである。 本来、熱帯性の魚類で、インド、マレーシア、アフリカ、オーストラリアなどに分布する。		

